

人・物・情報を高度につなげる

Q ⑬ JR山陰本線園部駅までの複線電化が進められているが、せめて胡麻駅まで複線化できないか。朝の通勤時間帯は30分に1本の運行をしてもらえるよう要望してほしい。(胡麻基幹集落センター)

A ⑬ 平成22年3月には京都―園部間の複線電化が完成しますが、綾部や福知山までの複線化については引き続き要望していきます。JRの管轄では、園部までが京都支社で園部以北が福知山支社になるため、



▲朝の通勤・通学時間帯の様子（JR胡麻駅）

採算性からいえば困難な状況ではありますが、増便の要望とともに乗客を増やす方策も考えていかなければなりません。

Q ⑭ JR八木駅は、明治32年の山陰線開通以来の駅の中では一番古いもので、老朽化した階段手すりはトゲが刺さり危険であるため、早期に全面改築してほしい。また、東西通路もなく不便であり、南丹病院への通院者のことを考えてエレベーターの設置をぜひしてほしい。(八木公民館)

A ⑭ 八木駅舎改築要望に行っており、市議会の要望も受けて今後も引き続き推進していきます。駅舎については、周辺の土地区画整理事業を含めて計画しているところで、平成21年度は駅舎等整備計画調査を実施しています。

で大型車がすれ違うことができない箇所や迂回路がないところもある。広域農道も早く完成させてほしい。(日吉市民センター)

A ⑮ 上下水道やCATVなどインフラ整備はほぼ完成し、道路整備も積極的に行っているところですが、合併により市道5000㎡、橋りょう500橋以上を管理することになり、財政的に厳しい状況であることをご理解いただけますようお願いいたします。農業用道路の整備については、平成22年度の事業完成に向け、事業実施主体の森林総合研究所ももちろん、京都府や関係機関を挙げてその推進に努力しているところです。また、生活道路としての利便性を考慮し、完成しているところから部分供用を開始しています。

Q ⑯ 美山町田歌大橋、芦生須後橋、南大橋など老朽化した橋があり合併特例債で改修されると聞いていたが、借金を減らすために工事は実施してもらえないのか。(美山知井会館)

A ⑯ 合併特例債や過疎債はまちづくりの基盤整備には

不可欠であり、合併により許された特典を有効に活用していきたいと考えています。しかし、借金をするのも厳しい状況で、学校の耐震化工事や道路・橋の老朽化対策については、安全性の調査を実施し、優先順位をつけて計画的に進めています。

Q ⑰ 公共交通バスが運行されてはいるが、乗り勝手が悪く、乗り継ぎが不便で、料金も高い。京丹後市の200円バスの成功例もあるので、実際にバス利用者の声を聞いてほしい。(国際交流会館)

A ⑰ 南丹市も高齢化比率が高く、さらに高齢者の運転免許更新も厳しくなったため、スクールバスの運行と併せて公共交通バスへの要望も多い状況です。しかし、採算の取れないところでの運行は厳しく、福祉有償運送の取り組みも進めています。(企画管理部長回答)南丹市には直営と委託と民間路線バスがあり、このほかに福祉有償運送があります。集落隔々まで行き渡っていないのが現状ですが、交通弱者を対象に具体的な聞き取り調査を実施しているところで、平成22